



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：03-3541-5151（内線番号：77-988）
担当者の所属・氏名：女性総合診療部 吉田 司

【研究責任者】

聖路加国際病院 女性総合診療部 吉田 司

当院で経膣採卵手技を受けられた方を対象とした

鎮痛剤の効果に関する研究

1.研究の対象

- ・ 聖路加国際病院で、経膣採卵手術を受けた方
(期間：2021年6月1日から2022年5月31日)

2.研究の目的・方法

経膣採卵術とは、生殖補助医療の一環のうち経膣超音波で確認した卵胞に向けて採卵針を膣・卵巣の順に穿刺し、大きな卵胞の中心に針先をおいてゆっくり回転しながら吸引する方法です。経膣採卵術は、個人差はあるものの一定の割合で疼痛を感じる女性がいると報告されています。当院では従来の方法に加えて2022年1月1日より、経口アセトアミノフェン錠（®カロナール錠）500mg 2錠を穿刺約30分前に投与する先制鎮痛を導入しました。本検討では、従来までの方法とアセトアミノフェンを追加内服している群の術後鎮痛を比較することを目的としています。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2023年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》

個人情報（カルテ ID、年齢、身長、体重、BMI）

患者背景：既往歴、嗜好歴、不妊治療の既往、手術歴

検査データ：術前肝機能、処置時間、採卵中・採卵後の合併症、有効卵胞数、採卵数、受精率、着床率 等

《試料》 なし